

**第2回1日目 「平成28（2016）年度 入退院支援連携デザイン事業
専門職リーダー養成フォローアップ研修（対象：医療ソーシャルワーカー中堅者）」開催要項**

1. 目的： 入退院支援連携体制を構築するため、地域包括ケアシステムの基本理念や入退院支援連携デザイン事業の理解を深めることにより、患者・家族に質の高い入退院支援連携ができる医療ソーシャルワーカー等を養成し、地域包括ケアシステムに寄与することを目的とする。
2. 主催：沖縄県・一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
3. 対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士 約30名
(入退院支援連携業務の経験概ね5年以上の者)
4. 日時：2016（平成28）年10月 8日（土）13:00～17:00
5. 場所：那覇市立病院 3階講堂
那覇市古島2丁目31番地1 098-884-5111
6. 参加費：無料
7. プログラム：
 - 12:30 ～ 13:00 受付、プレアンケート
 - 13:00 ～ 13:15 開会挨拶（主催者）、オリエンテーション
 - 13:15 ～ 14:45 講演①：
「地域包括ケアシステムにおけるメゾレベル介入のためのソーシャルワーク実践」
講師：社会医療法人明生会 道東脳神経外科病院 副院長 関 建久氏
(一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長)
 - ※保健医療機関のソーシャルワーカーにとって、所属機関が一つの大きな社会資源であることを理解し、それを活かすことが大切です。そのためには所属組織の機能的限界と「連携」について理解することが重要です。地域包括ケアにおける医療ソーシャルワーカーの役割と、多職種連携のあり方について、メゾレベル（所属機関内や組織）でソーシャルワークを展開する方法を理解できるように、地域包括ケアの例を盛り込みながら研修を展開します。
 - 14:45 ～ 15:00 質疑応答、休憩
 - 15:00 ～ 16:45 講演②：
「北海道北見市における病院-ケアマネ連携ルールの策定について-」
講師：社会医療法人明生会 道東脳神経外科病院 副院長 関 建久氏
(一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長)
 - ※全国各地域で病院退院時のケアマネジャーとの連絡ルールが討議されていますが、有名無実化しているのが実情です。理由は全員で検討していないからです。なおかつ病院側の動機づけが不十分な点もその理由です。演者らが4年かけて策定してきた連携ルールが本年10月から開始しました。そのノウハウと連携ルール策定の本質を講演します。
 - 16:45 ～ 17:00 ポストアンケート、閉会挨拶（主催者）
8. 申し込み方法：申込書を記載の上、期限（9月30日）までにFAXでお申し込み下さい。

**第2回2日目 「平成28（2016）年度 入退院支援連携デザイン事業
専門職リーダー養成フォローアップ研修（対象：医療ソーシャルワーカー）」開催要項**

1. 目的： 入退院支援連携体制を構築するため、地域包括ケアシステムの基本理念や入退院支援連携デザイン事業の理解を深めることにより、患者・家族に質の高い入退院支援連携ができる医療ソーシャルワーカー等を養成し、地域包括ケアシステムに寄与することを目的とする。
2. 主催：一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
3. 対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士 約90名
(入退院支援連携業務の経験者、これから取り組む予定の者)
4. 日時：2016（平成28）年10月 9日（日）9：30～16：00
5. 場所：那覇市立病院 3階講堂
那覇市古島2丁目31番地1 098-884-5111
6. 参加費：無料

7. プログラム：

9:00 ～ 9:30 受付、プレアンケート

9:30 ～ 9:45 開催挨拶（主催者）

9:45 ～ 10:45 **講演①：「患者の〈どう生きるか〉を支える支援について」**

講師：沖縄大学 富樫 八郎氏

※地域包括ケア時代のソーシャルワークにはスピードが求められます。例えば、自動車のスピードが速くなればなる程に回りの景色は消えていきます。患者さんやご家族の支援にも同様な現象が現れます。この度の研修会では、短期介入の中で患者さんの生活自立とQOLの向上を目指すソーシャルワーク実践、すなわちソーシャルワークの価値と知識・技法を駆使し、「患者さんの自己受容・自己実現」を中心に据えたアセスメント・介入、他職種との協働・連携のあり方を考えていきます。

10:45 ～ 11:00 質疑応答、休憩

11:00 ～ 12:00 **講演②：「ソーシャルワークアセスメントの視点」**

講師：沖縄大学 富樫 八郎氏

※ソーシャルワークの焦点は、人びとの対処能力の向上と環境の応答性の向上です。そのためソーシャルワーク介入は、介入範囲の拡大とともに多様なソーシャルワーク実践アプローチの活用による総合的で包括的なものになります。地域包括ケアに資するソーシャルワークアセスメントについて、特にクライアントの「生活」の理解を通して考えます。

12:00 ～ 13:00 昼食

13:00 ～ 15:45 **ワークショップ：「MSWサマリーを作成しよう！」**

講師：沖縄大学 富樫 八郎氏

※MSWサマリー（ケース報告書）は、転院先のソーシャルワーカー、退院に伴い地域包括支援センターのソーシャルワーカー、その他の関係機関との緊密な連携を図る目的で連絡・調整とともに提出されます。「患者・家族の意向や（退院時の）生活の場での目標」を共有し、MSWの専門性に基づいたサマリーとはどのようなものか、実際に作成してみます。

15:45 ～ 16:00 ポストアンケート、閉会挨拶（主催者）

8. 申し込み方法：申込書を記載の上、期限（9月30日）までにFAXでお申し込み下さい。